

2024年ごあいさつ

佐野藤三郎生誕100年記念 記念シンポジウム、記念式典、祝賀交流会
佐野藤三郎生誕100年記念事業実行委員会 各種事業開催
佐野藤三郎氏を新潟市の名誉市民に「要望書」を提出

2024/1/16 第49号

2024年 新年のごあいさつ



常日頃皆様には当財団の活動及び財政基盤の確保に対し、ご理解とご協力を賜り心から御礼申し上げます。

さて、2023年は第8回食の新潟国際賞の国内外への推薦募集活動を進めました。

また、「にいがた食と農の未来」学生ビジョンコンテスト2023を開催し、県内の学生の皆様から貴重な提言を頂きました。

2023年は食の新潟国際賞の冠である佐野藤三郎氏の生誕100年にあたることから、県内11団体で構成される「佐野藤三郎生誕100年記念事業実行委員会」（会長 池田 弘）を設立し、佐野氏の偉業を顕彰し、より多くの市民から知って頂くための事業を展開いたしました。そして、多くの市民と関係者の出席のもと、記念シンポジウム・記念式典を挙げる事ができました。

更に、当財団事業として佐野藤三郎氏のマンガ出版やテレビの特別番組や新聞紙上での特集記事など、佐野氏の広報に積極的に取り組み大きな反響をいただきました。

併せて念願でもある佐野藤三郎氏の新潟市名誉市民称号の受章についても運動を展開し、その朗報に期待をするとともに、引き続き佐野氏の顕彰に努めてまいります。

本年、当財団は創立15周年を迎え、第8回食の新潟国際賞の選考事業と表彰式（11月20日）が予定されております。

これからも「食と生命」をテーマに食の新潟国際賞を通じて、世界の食の課題の解決と人々の健康と福祉、平和に貢献し、新潟を国内外にアピールする活動を続けてまいります。

今後とも当財団の運営と活動に皆様のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

公益財団法人 食の新潟国際賞財団
理事長 池田 弘

佐野藤三郎生誕100年記念 記念シンポジウム、記念式典、祝賀交流会 2024年11月9日

食の新潟国際賞財団の冠にお名前を頂いている佐野藤三郎氏が、2023年11月25日に生誕100年を迎えることを記念して、生誕100年記念事業実行委員会は、11月9日に記念シンポジウム、記念式典、祝賀交流会をホテルイタリア軒で開催され関係者や一般参加者187名が出席した。

記念シンポジウムでは特別講演とパネルディスカッションが行われた。特別講演を行った元内閣府事務次官の松元崇氏は、大蔵省主計局時代の佐野さんとの親交(いわゆる「佐野学校」)について思い出を、また、運輸省の第一港湾建設局長だった栢原英郎氏は、空港問題研究会での佐野氏の存在感について語った。続いて、記念式典では中原ハ一新潟市長が祝辞を述べ、佐野氏の業績について改めて評価と賛辞を贈った。さらに、中華人民共和国駐新潟総領事館の崔 為磊総領事は、両国の友好のため井戸を掘った恩人である佐野氏のことは記憶に深く残っていると祝辞を贈った。

《 I 記念シンポジウム 》

1. 開催挨拶 亀田商工会議所会頭 五十嵐豊 氏
2. 特別講演「佐野藤三郎氏との出会いと思い出を語る」
 - (1) 松本 崇 氏(国家公務員共済組合連合会理事長、元内閣府事務次官)
 - (2) 栢原英郎 氏(元運輸省技術総括審議官、元(一社)日本港湾協会会長)
3. パネルディスカッション「佐野藤三郎氏の夢をどう伝え引き継ぐか」
ファシリテーター 篠田 昭 氏(新潟青陵学園理事長・前新潟市長)
パネリスト 中山輝也 氏(株式会社キタック代表取締役会長)
平山征夫 氏(元新潟県知事)
吉田至夫 氏(新潟経済同友会 筆頭代表幹事)
伊藤忠雄 氏(新潟大学名誉教授)
原 崇 氏(新潟日報社 論説編集委員)
4. 閉会の挨拶 新潟県日中友好協会会長・にいがた22の会会長 五十嵐祐司 氏



開会挨拶 五十嵐 豊 氏



特別講演 松元 崇 氏

1988年大蔵省主計局農林係に就任した際、亀田郷を訪れ佐野さんと初めて会った。興味深い話では、佐野さんらが実施した区画整理が新潟市街地計画の基礎となっていたこと。亀田郷の構造改善事業が中国の周恩来氏に注目され、三江平原開発のプロジェクト協力につながった話も聞いた。佐野さんは国際的な見識も持っていた。また、佐野さんは農水省にも人脈があり、田中角栄氏とも懇意で「国や地域の発展のために政治はあるべきで、後継者に将来展望を与えるための農村整備で、土地利用は地域全体の視点が重要」と考えていた。

特別講演 栢原 英郎 氏

1990年4月「空港問題研究会」で初めてお会いしました。見るからに大人物で、議論を静かに聞き結論に実践的なアドバイスをしてくれるのが特徴的だった。滑走路延長工事で松浜地区住民の賛同を得るのに大変苦労していた時、「住民が求めていることを提案することによって問題はきっと解決できる」という具体的な方法を述べて頂いた。テーマの一つに新潟空港への新幹線乗り入れがあった。新潟空港の利便性を高めることと、北陸新幹線への対抗策だった。新幹線車両基地を活用するルート等があり、佐野さんにもアドバイスを頂いた。これが実現していたらと思うと残念でしかたがない。



佐野藤三郎生誕100年記念 記念シンポジウム、記念式典、祝賀交流会 2024年11月9日



伊藤 忠雄 氏(新潟大学名誉教授)

50年前亀田郷土地改良史の編纂を手伝った。タイトルは「水と土と農民」、あくまでも苦労してきた地域の農民が主人公。そこに「佐野イズム」を感じた。佐野さんの魅力は芦沼の乾田化とその後の農業経営の発展に尽くした行動力。減反政策の際に非食料米生産と代替エネルギー利用を提言するなどの構想力。秩序ある土地利用のために発揮された調整力の三つだ。



中山 輝也 氏(株式会社キタック代表取締役会長)

佐野さんが団長を務めた中国・三江平原調査団に地質専門家として同行して以来の長いお付き合い。視察中一緒にいる機会が団員の中でも飛びぬけて多く、日々人生訓を受けた。人生の師に巡り合った気がする。三江平原開発では要となる竜頭橋ダム建設が10年間も据え置かれてきたが、佐野さんが黒竜江省政府と北京政府を説得して円借款実現に奔走し、ダムは2002年によりやく完成。事業実現への佐野さんの功績は実に大きい。



平山 征夫 氏(元新潟県知事)

日本銀行新潟支店長に就任した1989年、空港問題研究会で初めてお会いした。知事に就任してからは毎月1回二人で飲み様々な問題を話し合いアドバイスを頂いた。短いお付き合いだが中身は濃かった。佐野さんほど地域を愛した人はいないのではないか。新潟医療生協を創設したのも佐野さんで、それが今の木戸病院だ。佐野さんの偉業を中国の人にもっと知ってもらいたい。また、今こそ新たな佐野藤三郎の出現が求められている。



原 崇 氏(新潟日報社 論説編集委員)

弱い立場の人、困難な環境にある人、理不尽への思いが行動の原点にあったのではないかと。佐野さんの生涯を学ぶということは、新潟の歴史、苦労、今の課題と未来を考えること。その魅力は情熱、愛、夢に尽きる。駆けずり回って一生懸命やるから人脈も増える。佐野さんは現実世界だけでなく未来にも元気と勇気を遺してくれた存在。「やれない理由を探すのではなく、できることをしよう、新潟県人元気で頑張れ」と語っている気がする。



吉田 至夫 氏(新潟経済同友会 筆頭代表幹事)

直接には佐野さんとお会いしたことは無いが、弊社の先代である父親が、佐野さんと飲むたびに「すごい人物だ」と感嘆して帰ってきていた。うちは農業機械の販売をしているが、農村社会には必ず各地にリーダーシップと人望のある親分さんがいる。佐野さんはそういうひとだったのでしょう。高い思想と透徹したリアリズムをお持ちだったのだと感じる。日本農業の発展のため、佐野さんのように全力を尽くしたい。



ファシリテーター 篠田 昭 氏(新潟青陵学園理事長、前新潟市長)

新潟日報の記者として昭和50年代から佐野さんとのお付き合いが始まった。佐野さんが亡くなる前の最後の取材で「今後は本格的に新潟が環日本海の中で役割を果たす時だ。困った、どうしよう、それは禁句ですよ。新潟から世界に情報を発信できる条件はますます整ってきている。俺はそう信じているよ」と語ってくれた。佐野さんの足跡に学び、元気で勇気のある取り組みをやっていきましょう。

佐野藤三郎生誕100年記念 記念シンポジウム、記念式典、祝賀交流会 2024年11月9日

《Ⅱ 記念式典》

特別映像上映「佐野藤三郎物語～大地に夢を見た男の新潟未来構想～」

1. 式辞 実行委員会 会長（公財）食の新潟国際賞財団 理事長 池田 弘 氏
2. ご来賓祝辞
 - （1）新潟市長 中原八一 様
 - （2）新潟市議会 議長 皆川英二 様（代理 副議長 小山 進 様）
 - （3）中華人民共和国 駐新潟総領事 崔 為磊 様



記念式典には161名が出席した。まず佐野氏の業績を紹介する映像「佐野藤三郎物語～大地に夢を見た男の新潟未来構想～」(約13分)が上映され、参加者は佐野氏の生涯と業績を偲んだ。続いて、実行委員会の池田 弘会長が式辞を述べた。そして、ご来賓の方々からご祝辞を頂いた。



ご祝辞 新潟市長 中原八一 様

佐野氏は、地図に無い湖と言われた水はけの悪い芦沼を美田に変え、地域づくりに貢献し新潟市はコメの産出額や水田面積は全国に誇れるものとなり、今日の都市と農業の調和する新潟市につながっています。さらに中国ハルビン市との友好都市締結など国際交流の先駆者でもあります。今年度スタートした新潟市総合計画の都市像は、田園の恵みを感じながら心豊かに暮らせる日本海拠点都市です。佐野氏が礎を築いてくれた新潟発展の方程式を重ね合わせながら、本市が持つ都市と田園が調和し暮らしやすいという特徴を最大限活かし、活力ある日本海側の拠点都市として成長させていきたいと考えております。



ご祝辞 新潟市議会 議長 皆川英二 様（代理 副議長 小山 進 様）

佐野氏は土地改良事業に止まらず、今日の新潟市の姿である都市と農業が調和・共存する、田園型政令指定都市の基盤を作り上げた人物であります。佐野氏が残した農業や街づくりの功績を引き継ぎ、新潟市議会と致しましても、今日の農業の発展と田園型政令都市新潟の、暮らしやすい街づくりに一層の努力を続けて参りたいと考えております。



ご祝辞 中華人民共和国 駐新潟総領事 崔 為磊 様

水を飲むとき井戸を掘った人を忘れない、佐野先生を始め日本の三江平原開発への貢献は中国側は肝に銘じております。竜頭橋ダムは、まさに意義深い中日協力の歴史の記念碑と言えるでしょう。先の中国共産党中央政治局会議では、中国東北地域の振興のため科学技術の発展により近代化された大農業発展の具体的方策を打ち出しました。新潟県は農業分野のレベルが高く、中国東北地域との交流と協力の関係が強く経験が豊富です。友好・互惠・協力のつながりをさらに拡大し共同发展を促し、北東アジア地域の経済一体化のために共に力を入れて参りましょう。

記念シンポジウム 閉会の挨拶

新潟県日中友好協会会長 五十嵐祐司 氏



江戸末期のこんな一文があります。一燈下げて暗夜を行く、暗夜を憂うことなかれ、ただ一燈を頼む。今日のシンポジウムでも語られたように、北東アジアの共生。そして、都市と農村の共生に解を求め、確信をもって駆け抜けたのが佐野藤三郎さんだったと思います。ともに生きるという理念の一燈を掲げ、順風の時に奢ることなく、逆風の時にひるむことなく生きた、あなたの理念の一燈が、ともした一燈が、絶えることなく、逆境の今を乗り越えて、新潟の心のたすきとしてつながることを、今日ここにおいてになってる皆さんと共に信じ、願うものであります。どうかお見守りください。本日は皆様大変ありがとうございました。

佐野藤三郎生誕100年記念 記念シンポジウム、記念式典、祝賀交流会 2024年11月9日

《 Ⅲ 祝賀交流会 》

1. 開宴挨拶

新潟県土地改良事業団体連合会 会長 帆苅謙治 氏

2. 来賓祝辞

新潟県知事 花角英世 様（代理 副知事 笠鳥公一 様）

3. 乾杯

（公財）古泉財団 代表理事、（公財）食の新潟国際賞財団 特別顧問・ファウンダー 古泉 肇 氏

4. 紹介と挨拶

（1）「まんが にいがた偉人伝 佐野藤三郎」について紹介

（2）挨拶 古越龍山東京事務所所長、紹興酒ジャパン代表取締役 夏 良根 氏

5. 御礼の挨拶

佐野藤三郎生誕100年記念事業実行委員会 副会長 杉本克己 氏



開宴挨拶 帆苅謙治 氏



ご祝辞 新潟県副知事 笠鳥公一 様



乾杯 古泉 肇 氏



マンガは新潟市内の図書館や公民館。小・中・高校や、大学等に寄贈された

引き続き午後5時40分から開催された祝賀交流会には120名が出席した。実行委員会を代表して新潟県土地改良事業団体連合会の帆苅謙治会長が開宴の挨拶を行った。続いてご来賓の新潟県知事（代理の笠鳥公一副知事）がご祝辞を述べた。そして、実行委員である古泉 肇氏の発声で乾杯が行われ、参加者は佐野氏の思い出話やエピソードを振り返りながら、佐野氏の業績と人柄を偲んだ。

記念事業の一環として制作した「まんが にいがた郷土の偉人伝 佐野藤三郎」が完成しこの日のシンポジウムの参加者に贈呈された。マンガは一部カラーで135ページ。佐野氏の生い立ちから亀田郷土地改良区理事長として約40年間の活躍や人柄がわかりやすく紹介されており、佐野氏と直接会ったことが無い人達にも、佐野氏を知る上でたいへん役に立つと好評だ。

また、今年は日中国交回復50周年の年でもあり、紹興酒の輸入販売をしている会社の代表の夏 良根氏から紹興酒の提供があり宴を盛り上げた。



夏 良根 氏



御礼挨拶と万歳 杉本克己 氏



締めは、実行委員会副会長で亀田郷土地改良区理事長の杉本克己氏が、お礼の挨拶と万歳三唱を行った。参加者は生誕100年を機に佐野氏の業績と遺志を引き継ぎ未来に継承するという強い思いを新たにしました。

佐野藤三郎生誕100年記念事業 実行員会では各種記念事業を開催しました

亀田郷農業・未来プロジェクト 8月1日(火) 主催: 亀田郷土地改良区

■基調講演

1「佐野藤三郎さんの足跡とこれからの亀田郷農業への期待」

新潟大学 名誉教授 伊藤忠雄氏

2「食料・農業・農村基本法の検証・見直し」～食料安全保障の確立～

農水省北陸農政局新潟県拠点 地方参事官 福井逸人氏

3「基盤整備の展開方向」～持続可能な農業経営の確立に向けて～

農水省北陸農政局 信濃川水系土地改良調査管理事務所長 福田一宏氏

■亀田郷農業への提言

- 1 亀田郷土地改良区 大江山総代 池田 誠氏
- 2 農業組合法人カミハヤ代表理事 鷲尾徳昭氏
- 3 丸榮製粉(株)取締役品質保証部長 大谷勝男氏
- 4 新潟市農林水産部 部長 三阪史也氏
- 5 新潟県農林水産部 部長 窪田稔博氏
- 6 新潟県農地部 部長 登り俊也氏



佐野藤三郎氏ゆかりの地訪問バスツアー 10月3日(火) 主催: 食の新潟国際賞財団



佐野藤三郎氏に関係の深い亀田郷土地改良区の「芦沼館」と「天寿園」そして「親松排水機場」をめぐるバスツアーを実施し、一般参加者など39名が参加した。「芦沼館」では亀田郷土地改良区の杉本克己理事長が説明。

また、中国庭園の「天寿園」では(株)キタックの中山輝也会長が中国三江平原開発への協力について講演した。親松排水機では鳥屋野潟より海拔の高い信濃川に排水を行っている施設の機能と役割について説明を受けた。参加者は改めて佐野氏が残した実績を振り返りその業績を再認識していた。

佐野藤三郎氏と新潟の都市整備 10月25日(木) 主催: にいがた22の会

講師の篠田昭氏(新潟青陵学園理事長・前新潟市長)が「新潟の礎を築いた佐野藤三郎氏の功績」というテーマで講演した。にいがた22の会は、新潟の産官学民の有志で構成され、新潟や地域の活性化等について情報交換を行い会員相互の交流を目指している。

今回のセミナーでは講師の篠田氏がかつての取材経験を基に、佐野氏が新潟に残した業績等について講演した。約40名の参加者の中には、佐野氏について全く知らない人もかなりいて、改めて佐野氏の業績を振り返り、その存在の大きさを再認識していた。



佐野藤三郎氏を新潟市の名誉市民に 実行委員会が新潟市長、市議会議長に「要望書」を提出

佐野藤三郎生誕100年記念事業実行委員会は、11月24日新潟市役所を訪れ佐野藤三郎氏に新潟市名誉市民の称号を授与することについての要望書を、中原八一新潟市長と皆川英二市議会議長に提出しました。

市役所を訪れたのは、生誕100年記念事業実行委員会の、池田弘会長((公財)食の新潟国際賞財団理事長)、副会長の杉本克己(亀田郷土地改良区理事長)、同じく副会長の中山輝也(新潟県対外科学技術交流協会会長)をはじめとする8名です。

池田会長は「佐野氏は新潟市の農業と経済発展、都市基盤整備や国際交流推進という幅広い分野においてその卓越したリーダーシップを発揮し、信念と情熱をもって新潟市の発展に大きく寄与された郷土の偉人であり、是非、新潟市の名誉市民の称号を授与していただきたい」と、中原市長に要望書を手渡しました。
その後、新潟市議会の皆川英二議長にも同様の要請を行いました。



要望書を、中原八一新潟市長に提出する池田弘会長と中山輝也、杉本克己両副会長

令和5年11月24日

要 望 書

新潟市長 中原 八一 様

佐野藤三郎氏に新潟市名誉市民の
称号を授与することについて

要 望 者
佐野藤三郎生誕100年記念事業実行委員会

会 長	池田 弘
副会長	中山 輝也
副会長	杉本 克己
委員長	福田 勝之夫
委員長	吉田 至
委員長	古泉 肇
委員長	五十嵐 豊
委員長	帆刈 謙治
委員長	五十嵐 祐司
委員長	佐藤 明

市長に提出された要望書の表紙



引き続き皆川英二市議会議長に要望書を手渡す



● 特別会員

亀田製菓(株)	(株)ブルボン	(学)新潟総合学園
一正蒲鉾(株)	サトウ食品(株)	新潟県農業協同組合中央会
(株)第四北越銀行	(株)栗山米菓	亀田郷土地改良区
(株)新潟日報社	(株)新宣	(株)エイケイ
亀田商工会議所	(株)新潟クボタ	NST新潟総合テレビ
にいがた22の会	(株)日本食糧新聞社	五十嵐建設工業(株)

● 正会員

新潟県信用組合	新潟工科大学産学交流会	新潟工科大学
(株)第一印刷所	(株)キタック	(株)日本旅行新潟支店
(株)本間組	北越工業(株)	(株)田中組
石本酒造(株)	丸榮製粉(株)	(医)愛仁会 亀田第一病院
(株)ミカサ	鍋林(株)ヘルスフーズ事業部	(株)ひらせいホームセンター
神山物産(株)	TeNYテレビ新潟放送網	ワタキューセイモア(株) 新潟営業所
ハセガワ化成工業(株)	(株)栗田工務店	(株)エヌエスアイ
藤屋段ボール(株)	三和薬品(株)	(株)トップライズ
(株)タケショー	松田産業(株)	(株)ウオシヨク
(株)新潟博報堂	セツソカートン(株)新潟工場	(株)ヤマダ
BSN新潟放送	東邦産業(株)	(株)新潟国際貿易ターミナル
新潟陸運(株)	麒麟山酒造(株)	八海醸造(株)
(株)新潟食品運輸	(株)加島屋	(株)荏原製作所 北陸支社
月島食品工業(株)	(株)日本フードリンク	(株)せいだ
(株)ニッポン関東支店	(株)ディモルギア	新潟医療生活協同組合
日本甜菜製糖(株)	UX新潟テレビ21	
(株)鳥梅	イカリ消毒(株)	

● 個人会員

古泉 肇	藤島 安之	和田 充彦	高畑 昭文	廣瀬 利雄	山口 勉	高橋 常考	田村 敏郎
杉本 克己	近藤 鴻	大川 秀雄	大倉 正寿	吉岡 謙一	古口 日出男	坂田 武利	門脇 基二
大谷 勝男	佐藤 久栄	田中 敏明	青木 清	阿部 徳威	佐藤 勉	佐藤 清一	野上 文彰
板井 茂	清水 良一	田中 作一	新保 房機	古泉 榮三	佐藤 純	倉嶋 則昭	塚本 太一
大越 斎	野口 正晴	酒井 定勝	齋藤 秀明	松本 裕志	當野 篤	高山 利夫	久保田 紳一
河瀬 三千夫	和澄 孝男	五十嵐 修	望月 健三郎	山田 雄治	鈴木 正二	竹石 松次	古泉 幸代
大森 ゆかり	高橋 慶三	阿部 昭一	渡邊 信也	宇野 勝雄	赤塚 義廣	坂井 俊一	鈴木 伸作
佐藤 銀治郎	加藤 寿一	石附 由美子	齋藤 博文	齋藤 幸広	田辺 俊文	小田 静二	渡邊 徹
中村 好彦	栗田 浩	栗田 朋子	阿部 文仁	高尾 茂典	五十嵐 豊	久代 勝英	古泉 幸一
加藤 純子	高倉 広利	清水 泰成	阿部 愛子	宮口 澄子	五十嵐 康子	五十嵐 早苗	佐藤 文男
高橋 征男	高橋 克郎	田村 泰生	山崎 尉生	中村 雪絵	村山 浩太郎	稲葉 晋	川崎 千春
秋山 正之	松川 忠史	濱野 剛	小川 善弘	池田 祥護	星野 幸三	糸満 盛人	北垣 大介
小林 哲也	岡田 茂久	遠山 幸男	小野 隆樹	大橋 祐貴	前田 穰	桐原 隆晃	長井 基樹
岸田 良満	中村 健一	小林 宏志	柳澤 敏郎	遠藤 俊介	葉葦 正幸	津島 章彦	舟崎 義朗
小川 陽一	大日方 聡	宮下 好文	坂田 浩一	田中 雅史	藤間 佑輔	品田 卓也	渋谷 政道
村山 雄亮	北爪 文義	近藤 正	高橋 佑	荒井 弘美	重泉 篤史	本間 康弘	中野 克之
高橋 誉	最上 正人	石田 勇介	佐藤 正尚	下條 幸二	廣川 正通	小谷 尚志	高橋 道映
田中 弼	佐藤 浩晃	村山 和恵	小林 達	長谷川 久晃	酒井 栄一郎	佐藤 聡	小林 守
阿部 欣也	杉谷 浩一	榊原 由貴	金田 季之	宮島 泰	高崎 俊哉	高橋 裕作	小平 勝志
藤田 正明	池田 一史	宮嶋 一博	小嶋 孝代	渡邊 雄一郎	駒形 正明	阿部 貴美	大沼 成勝
丸山 智史	岡田 龍	小野 隆樹	田邊 威	高橋 大介	伊藤 雅明	秋堂 春美	田中 義夫
長谷川 克弥	山口 穰	田中 湖雄	牧 利幸	伊藤 正弘	本間 春治	早川 重男	田村 征司
樋口 正仁	伊積 豊	小林 稔	吉田 たかし	山本 善政	小島 隆	小林 松一	高橋 昭博
高橋 眞代							